

令和5年度(6年産)ビール大麦等生育概況③

農業試験場研究開発部麦類研究室

調査日：令和6年2月5日

(調査基準日2月5日)

○ニューサチホゴールデンの葉齢は5.4葉、草丈は10.4cm、莖数は1234本/m²であった。

○引き続き湿害対策としてほ場の排水対策を行う。

○ほ場の乾燥状態を確認した上で、麦踏みを実施する。

※播種時期の降雨等の影響により、播種が平年より10日遅くなったため、本年度の生育概況は参考としたい。

【1月下旬～2月上旬(1月20日～2月5日)の気象概況】

宇都宮市の1月20日から2月5日までの平均気温は、平年より高い4.7℃(平年差+2℃)であった。降水量は47.5mmと平年より多かった。日照時間は平年比100%と平年並みであった。

【2月上旬(2月5日)の生育概況 農試本場(宇都宮市)】

農試本場(宇都宮市)のニューサチホゴールデンの草丈は平年比81%、莖数は平年比114%であり、葉齢は平年より0.3枚少なかった。葉色値(SPAD)は平年比88%であった。幼穂長は平年比93%、幼穂長は平年比65%で平年より短い。幼穂分化程度は「VII後」の段階であった。

【今後の気象動向(気象庁季節予報令和6年2月1日発表より引用)】

- 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
 - ・ 向こう1か月の平均気温は、高い確率が60%
 - ・ 降水量は、平年並または多い確率が40%
 - ・ 日照時間は、少ない確率が40%

項目	地域	階級	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信地方	向こう1か月 02/03～03/02	10	30	60
		1週目 02/03～02/09	10	20	70
		2週目 02/10～02/16	20	50	30
		3～4週目 02/17～03/01	20	40	40
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 02/03～03/02	20	40	40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 02/03～03/02	40	30	30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※1週目 : 2月3日～2月9日
 2週目 : 2月10日～2月16日
 3～4週目 : 2月17日～3月1日

【今後の管理】

1) 踏圧（麦踏み）

踏圧を行っていないほ場では、なるべく早く踏圧を行う。

踏圧目安：2.5 葉期以降

踏圧回数：年明け後から茎立期直前までに2～4回実施

踏圧間隔：2週間以上

※茎立期：幼穂長が2cmを超え、茎が起立し始めるとき

ほ場が高水分状態での踏圧は土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすので、ほ場の乾燥状態を確認した上で踏圧を行う（目安として靴に土がつかない程度）。

踏圧の効果

- | | |
|------------|-----------|
| ・分げつを旺盛にする | ・凍上害を防止する |
| ・根張りをよくする | ・耐寒性を増大する |
| ・生育をそろえる | |

2) 排水対策

今後の1か月予報では、降水量は平年並または多い確率が40%と予測されているので、まだ明きよを整備していないほ場では速やかに整備を行う。

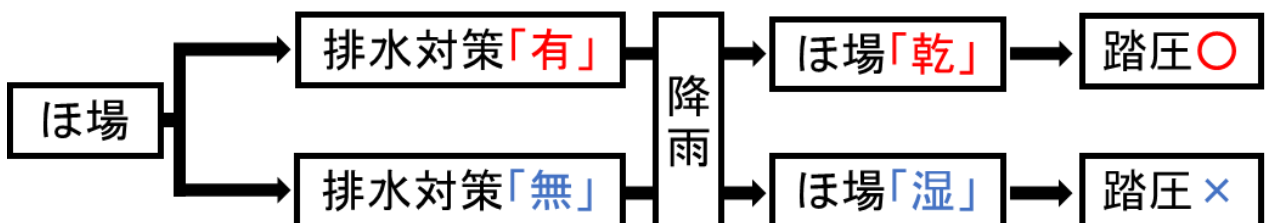
★整備のポイント★

① 明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されている。

② 溝が土や泥等で埋まっていない。
(埋まっていたらさらう)。

このような排水対策の実施により、
降雨・降雪後のほ場の乾燥を促し、
計画的な踏圧が可能となる。

※適切な排水対策により、降雨後でもほ場が
乾きやすく、早い時期に踏圧ができる



【耕種概要等】

調査方法：ほ場調査(草丈、茎数、葉齡、葉色、NDVI)

抜取調査(幼稈長、幼穂長、幼穂分化程度)

播種期：11月16日(前年11月7日・平年11月6日)

播種量等：条間22cmの手播き、播種量226粒/m²設定

施肥：

	施肥量(kg/10a)			備考
	N	P	K	
基肥	7.0	9.0	7.0	BBビール麦エース 14-18-14 50kg/10a

※前作は水稻青刈りすき込み、堆肥1.0t/10aを施用

※重焼燐2号200kg/10a、苦土炭カル100kg/10aを施用

踏圧：12月27日、1月19日、2月5日

【調査結果】

農試本場(宇都宮市)における生育概況(2月5日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齡	葉色 SPAD	正規化 植生指数 NDVI	幼稈長 mm	幼穂 長 mm	幼穂 分化程 度
ニューサチホ ゴールデン	本年	10.4	1234	5.4	33.2	0.38	3.7	1.1	5.0
	前年	13.4	1585	6.6	39.4	0.45	3.1	1.9	6.8
	比・差	78%	78%	-1.2	84%	84%	119%	58%	-1.8
	平年	12.8	1078	5.7	37.8	0.45	4.0	1.7	6.3
	比・差	81%	114%	-0.3	88%	84%	93%	65%	-1.3
サチホ ゴールデン (参考)	本年	11.7	1414	5.7	47.1	0.42	3.5	1.2	5.0
	前年	14.4	1682	6.6	38.9	0.45	3.0	1.6	6.8
	比・差	81%	84%	-0.9	121%	93%	117%	75%	-1.8
	平年	12.4	1035	5.6	38.8	0.46	4.0	1.7	6.4
	比・差	94%	137%	0.1	121%	91%	88%	71%	-1.4
シュンライ	本年	6.8	947	4.9	38.0	0.35	3.3	0.6	3.0
	前年	10.2	1235	5.4	44.2	0.43	2.2	0.9	5.2
	比・差	67%	77%	-0.5	86%	81%	150%	67%	-2.2
	平年	8.9	873	5.0	42.9	0.39	2.1	1.1	4.8
	比・差	76%	108%	-0.1	89%	90%	157%	55%	-1.8
さとのそら	本年	7.7	980	5.3	38.8	0.34	—	—	1.0
	前年	12.1	1359	6.0	50.4	0.41	2.5	0.4	2.1
	比・差	64%	72%	-0.7	77%	83%	—	—	-1.1
	平年	12.1	1496	6.7	48.0	0.55	3.2	0.9	3.7
	比・差	64%	66%	-0.7	81%	62%	—	—	-2.7

注1) NDVI：植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの

注2) 分化程度の前年及び平年差は、下記階級値に変換して計算した。

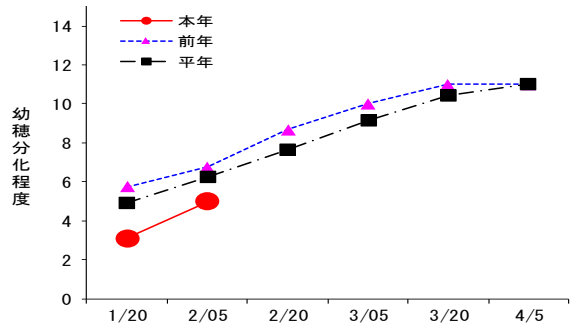
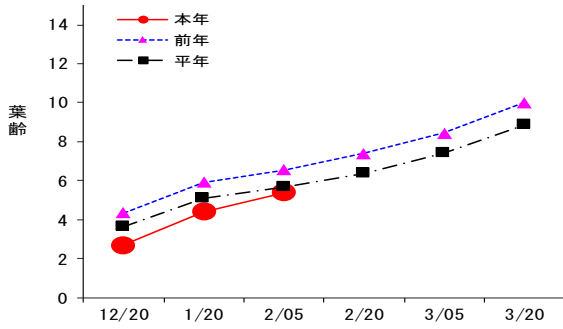
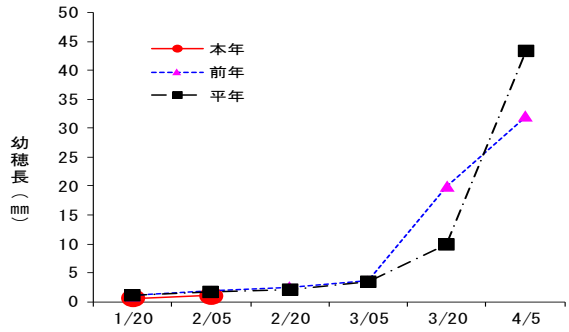
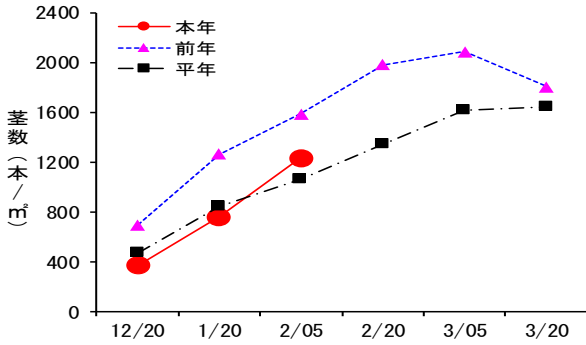
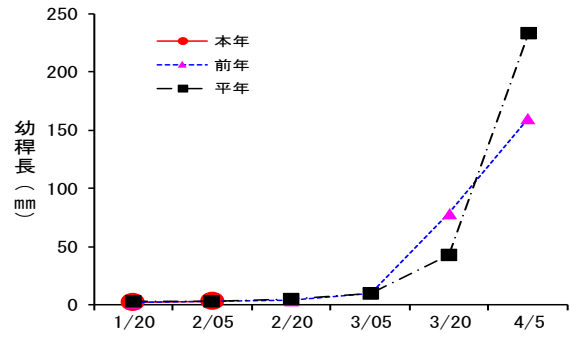
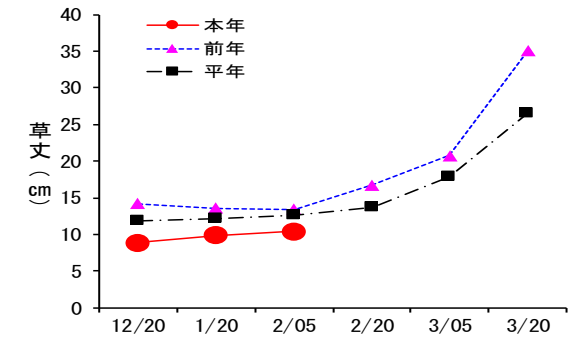
V以前:1 V:2 VI:3 VII前:4 VII後:5 VIII:6 IX前:7 IX中:8 IX後:9 X:10 X以降:11

注3) 小数点以下第2位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある

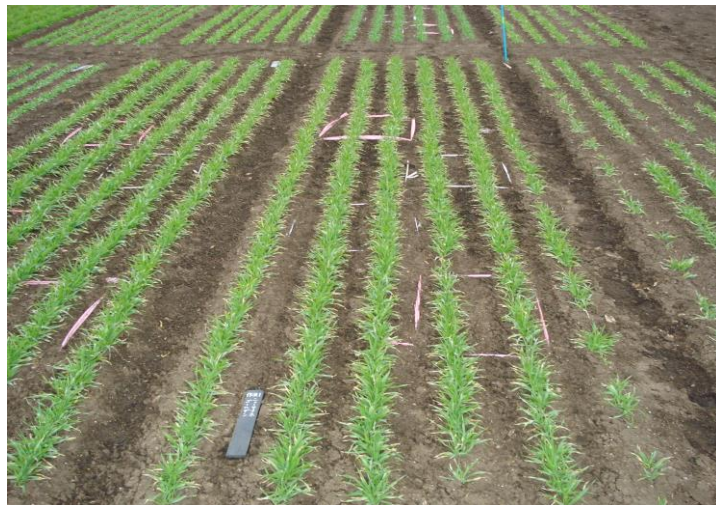
※平年値：ニューサチホゴールデン及びサチホゴールデンは平成25～令和4年度(10年間)その内NDVIは平成29年～令和4年度(6年間)、シュンライ、さとのそらは令和元年～令和4年度(4年間)

※さとのそらの幼稈長、幼穂長の調査については、幼穂分化期Vまで生育していないため今回の調査では未測定とした。

【ニューサチホゴールデン生育調査結果（農試本場）】



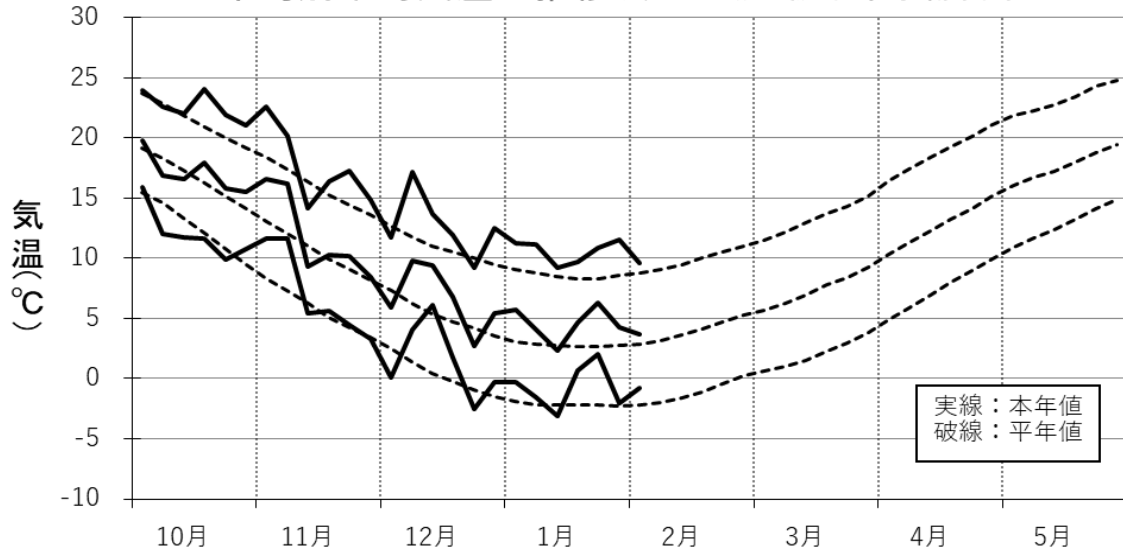
注) 幼穂分化程度は下記階級値に変換
 V以前: 1 V: 2 VI: 3 VII前: 4 VII後: 5 VIII: 6
 IX前: 7 IX中: 8 IX後: 9 X: 10 X以降: 11



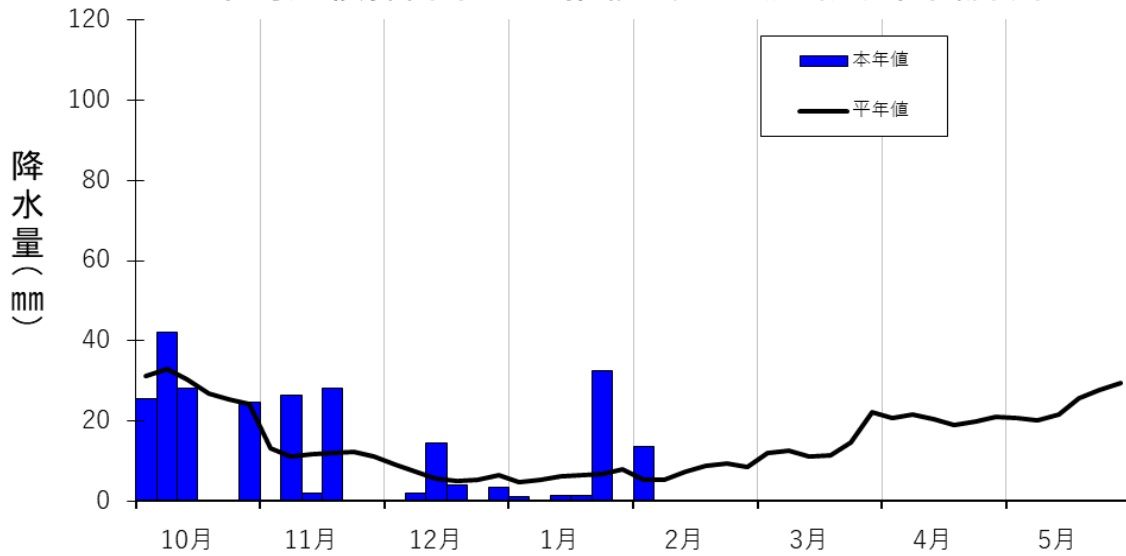
ニューサチホゴールデン 2023年11月16日播種 (2024年2月5日撮影)

【気象概況】

半旬別平均気温の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)

